

(別紙)

「米穀の新用途への利用の促進に関する基本方針（案）についての意見・情報の募集」に対して寄せられた御意見の概要及びそれに対する考え方

御意見の概要	御意見に対する考え方
米価高騰に苦しむ中のこのタイミングでの意見募集というのが理解できない。	本方針は米穀の新用途への利用の促進に関する法律第3条第1項の規定に基づき、おおむね5年ごとに定めているものです。 また、本方針における米穀の新用途への利用促進は、同法第1条にあるとおり、米穀の新たな需要の開拓及びその有効な利用の確保を図るとともに、水田の有効活用に寄与し、もって国民に対する食料の安定供給の確保に資することを目的としております。
日本の農業産業について、中長期的な視点から検討をしているのか、甚だ疑問。パブコメするにしても何ら根拠もなく、説得力がない。	
米穀を活用するのは構わないが、農家への支援をすべき。	
新用途を考える余力があるのなら主食用の米の確保ができてからすべきである。	
主食米の生産力が最重要である旨、記述を補強してほしい。	
インバウンド需要への対応は不要なので、削除してほしい。自国民が貧困から食糧を入手できないのは放置して、外国人観光客へ提供するのは問題ではないか。	
バイオプラスチック原料等の工業向け需要が増加している。工業用途が食用や飼料として流通しないよう、トレースシステムを構築する必要がある。	平成21年4月に米トレーサビリティ法が制定され、米穀等を取り扱う事業者に対し、取引記録の作成・保存、用途が限定されている米穀はその用途の記録等を義務付けています。 また、食糧法では、プラスチック用原料米穀等の用途限定米穀の用途外使用を禁止しています。
<ul style="list-style-type: none">・米油の収量を増やすため油（ぬか部分を含む油）の含有量が多い品種についての研究を行ってはどうか。・米を製麺に用いる場合、米のでんぷんのアミロース長が長い方が有利とされているかと思われるが、製麺用にブレンドして製麺用米粉の性能を向上させるための品種を育成するのはどうか。・飼料用米については、多収もであるが、高たんぱく米についての研究も行ってはどうか。	いただいた御意見につきましては、今後の研究開発に向けての参考とさせていただきます。